

日程 平成27年10月14日(水)～16日(金)

	テーマ	視察対応市
①	女性職員の活躍し維新について	茨城県宇都宮市役所
②	地域ぐるみの防災対策について	東京都墨田区役所
③	燃えないまちづくり現地施策	東京都墨田区京島会館
④	防犯対策の取組について	千葉県石川市役所

視察メンバー

委員長:中嶋祥元、副委員長 稲垣雅弘、  
委員 黒川智明、新村健治、新海真規  
加藤賢次、白土美恵子  
人事課課長補佐 高橋 盟、  
議事課課長補佐 加藤直樹 計9名

## 女性職員の活躍推進について(茨城県宇都宮市)

**目的** 刈谷市は、次世代育成支援対策推進法に基づき「刈谷市特定事業主行動計画」を策定し、10年間推進してきた。この法律に加え、女性活躍推進法が追加され、当計画を更新し、ワークライフバランスを確保する為の5年計画が、今年4月スタートした。宇都宮市も「女性職員活躍推進アクションプラン」を策定した事から、その考えと推進状況を学ぶ。変化点(更新)①子育てを行う女性職員の活躍指針に向けた取組②現状把握と課題分析③行動計画の策定と公表

宇都宮市、女性職員活躍推進アクションプランについて※計画期間:H27年度→H31年度(5年間)

### 1. アクションプラン策定の経緯 **複雑・多様化する行政課題に迅速且つ的確に対応していくために**

#### 女性の活躍推進が求められる背景

- 女性の視点などを活かし、新発想や時流に柔軟な発想転換が求められている。
- 様々な意志決定の場に、女性参画の推進をする。
- 職員の能力を最大限発揮できる組織づくりに取組み、行政経営の基盤強化が必要。

#### 女性の活躍推進アクションプラン策定の経緯について

##### •人材育成基本方針改定

職員の考え方や実態把握調査(H26.2)

女性管理職による検討チームを中心に、ワークショップ・ヒヤリング等を開催(H26.7～)

そのチームからの提言を考慮し、アクションプランを策定(H27.2)、庁議・発表(H27.3)

### 2. 計画目標 目標年度～H31年度

#### •スローガン 『女性が輝けば 組織はさらに輝く!』

- 仕事と生活の両立を皆で支え合い、一人ひとりがキャリアを描き、能力を最大限に発揮できる職場風土づくり。
- 目標は基本指標と施策の方向の2段構えの設定、本プランの総合的な取組みにより実現した結果を数値で表す。

##### ●基本指標

- 1)管理職の女性割合 目標15.0%(現状7.2%)…都道府県目標値10%程度。中核市の一般行政職比トップレベル。
- 2)男性の育児休業取得率 目標13.0%(現状3.3%)…現状値に、取得意向の割合を加え、国目標と整合を図る。

##### ●施策の方向毎の指標と取組(重点項目及び新規・拡充の取組を抜粋)

キャリア形成支援による女性職員の育成：総括主査に占める女性職員割合 目標35.0%(現状29.4%)

##### 施策1 女性職員のキャリア形成支援の充実

新規:女性活躍推進キャリア支援研修…課長級所属長(男女が同時受講し、相互理解する)

拡充:子育て応援キャリア支援セミナー…育児休業明け職員対象、育児休業中も自主参加可能(H27～)

重点:キャリアアップ研修(係長補佐で、昇任試験前のキャリア形成岐点の立場) 女性総括主査2年目以上

重点:女性職員派遣研修…部局から推薦を受けた女性職員(5名)※今までは人事課が指名。

##### 施策2 女性職員のキャリア意識向上に向けたその他の取組

新規:女性職員ネットワーク形成支援 仕事・生活の両立不安解消の為、職位・職種を超えた情報交換を行う  
(女性管理職が企画運営)

新規:ロールモデルによる支援の充実…管理職昇進に抱く不安解消に向け、女性管理職等がアドバイスする

II「職員の能力を十分に発揮できる組織づくり」…所属でキャリア支援に関わる面談実施率 目標100%(拡充)

##### 施策3管理監督者の意識醸成と風土改革

重点:管理監督者によるキャリア支援の充実

III「仕事と生活の両立に向けた環境づくり」…ワークライフバランスの満足度 目標100%(現状63.7%)

●市民・企業ニーズとその把握状況と課題

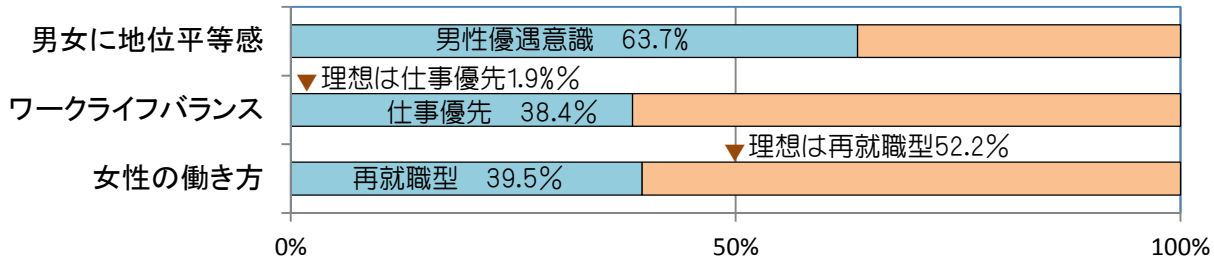
1) 市民意識調査等に基づく男女協働参画の状況と課題

・アンケート調査の概要

調査機関 平成23年9月20日(火)～10月7日(金)  
 対象者 市内在住の20歳以上の男女3000人  
 調査分析結果と課題認識



- ①家庭生活での夫婦の役割分担:理想は半々、現実が高齢者介護以外は主に妻が担っている状況。  
 課題:固定的な役割分担意識の解消や、習慣等の見直しに向けた啓発が必要
- ②女性の労働力は、全国・中核都市と比較し、宇都宮市は下回っている状況(25歳～49歳まで)  
 課題:男女共同参画を推進する人材・団体等の育成が必要。(その機会や場づくり含む)



●市民・企業に対する施策、事業について

①男女がともに活躍出来る分野の拡大

まちづくりにおける男女協働参画の推進

- 1) 災害発生時に於ける男女協働参画の推進  
 地域防災計画を見直し、出前講座等実施
- 2) 地域活動に於ける男女協働参画の促進  
 男女双方の視点やニーズに配慮した活動を広報紙等で啓発
- 3) 活躍している女性の情報発信

広報紙等による啓発  
 情報誌(2回/年)  
 発行部数1000部/2回・年



③企業における働きやすい職場環境づくりの推進

・男女共同参画推進事業者表彰(きらり対象の実施)



②ワークライフバランスを生み出す環境づくり

仕事と子育ての両立支援

- 1) 保育所、認定こども園の整備促進
- 事業所内に保育施設の設置補助

職業生活と家庭生活の両立支援に取り組む事業主の皆さまへ

**平成27年度予算の両立支援等助成金のお知らせ**  
※平成27年度予算における両立支援等助成金の内容です。

**1 事業所内保育施設設置・運営等支援助成金**

労働者のための保育施設を事業所内に設置、運営などを行う事業主、事業主団体にその費用の一部を助成します。  
 (1) 平成26年度予算の内容 ※平成27年4月9日までに申請した事業主に適用されます。

	助成率など	助成限度額
設置費	【大企業】1/3 【中小企業】2/3	【大企業】1,500万円 【中小企業】2,300万円 ●設置費は、運営開始の初年度に支給決定額の2分の1を支給し、3～5年度に支給要件を満たした場合に残額を支給します。
	【大企業】1/3 【中小企業】1/2	【大企業】750万円 【中小企業】1,150万円 ●5人以上の定員増を伴う増築、体調不良思のための安静室などの整備、支給要件を満たさない施設を新たに満たす増築
増築費	【大企業】1/3 【中小企業】1/2	【大企業】1,500万円【中小企業】2,300万円
	●定員増の場合は(増加する定員) / (建て替え後の施設の定員) × 【大企業】1/3 【中小企業】1/2	●5人以上の定員増を伴う建て替え、支給要件を満たさない施設を新たに満たす施設にする建て替え ●増築費は、増築、建て替えにかかわらず、設置費と同様、運営再開の初年度と3～5年度の2回に分けて支給します。

○中小企業両立支援助成金

- ・代替要因確保コース  
 育児休業時の代替要員確保と、原職復帰  
 6ヶ月以上雇用した事業主に助成
- ・期間雇用者継続就業支援コース  
 育児休業6ヶ月以上利用し、原職等に復帰させ、  
 6ヶ月以上雇用した事業主に助成

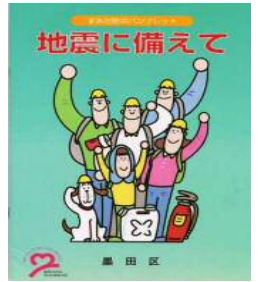
所管

宇都宮市は、アンケート調査と幅広くヒヤリングなど調査分析したデータをもとに、課題を整理し「女性職員活躍推進アクションプラン」を策定した。まず課長級の意識を変える教育を、対象職員の男女が同席して実施している。又、女性の意見を集約し制度に反映するとともに、活躍の場づくりとサポートする仕組みを作っている。そして、数値目標を2段階に設定し、より目的を達成する、チャレンジ目標を立てている。一方で、刈谷市は「特定事業主行動計画」として、男女協働参画を推進しているが、今回の刈谷市の研修資料では、調査分析内容が見える化されていないため、宇都宮市との施策を対比することが難しかった。事業者に対しても、宇都宮市には様々な仕組み・事業があり、今後精査し刈谷市の課題に合った施策を検討提案していく。



目的: 刈谷市は、地域の防災力の格差が大きいと考える。墨田区の共助防災の先進的取組について学ぶ。

過去の災害	墨田区(人口26万人、面積13.75km <sup>2</sup> )
「明暦の大火」で南部が被災。その後、江戸時代にまちづくり再構築	
「関東大震災」で墨田区は都内最大規模で被災した。	
東日本大震災14:46発生、15:00ごろ防災対策本部開設、津波50cmの3波観測 避難所開設(職員は不眠の対応)、民間活用(PFI)した避難所未指定の体育館に、帰宅困難者が2千人来場し、急遽避難所として対応するなどした。	



防災パンフレット

## 墨田区の地域特性

①沖積層で脆弱な地盤。②住宅・商工業が混在。木造家屋の密集地区が多く、人口密度が高い。

都市直下型地震による被害想定 前提条件 発生時刻:冬の平日PM6時、震源:東京湾北部、風速8m/秒、震度6

建物被害	全壊棟数	総数17657棟	液状化9902棟、地震東海7755棟
火災	出火件数	総数 32件	焼失棟数7755棟
人的被害	死者数	総数665人	内災害時要援護者数324人(48.7%)
	避難者	総数144939人	うち避難所生活者94211人(65.0%)
	帰宅困難者	総数79083人	外国人観光客多数
エレベータ閉じ込め	台数	340台	

ライフラインの  
全面復旧日数  
ガス : 55日間  
上水道 : 30日間  
下水道 : 30日間  
電力 : 6日間  
電話 : 14日間

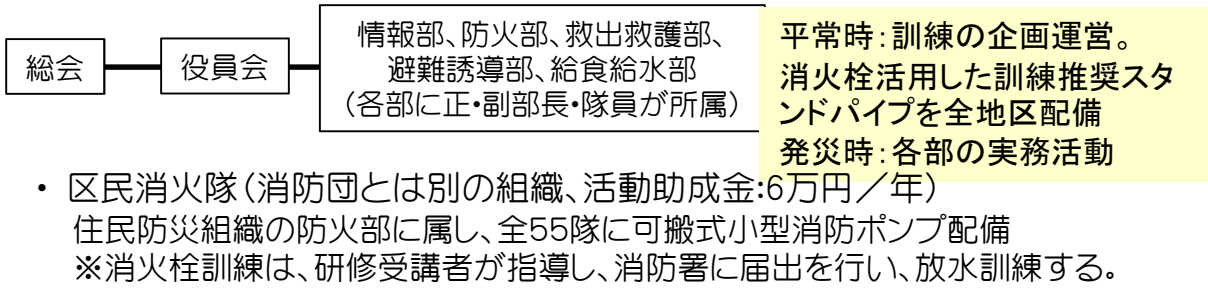
## 自助 日頃の備え

- ケガをしない備え 室内の安全対策 家具等の転倒、テレビ・パソコン等の落下・移動防止
- 暮らしを守る備え 食料品・水・燃料の備え、停電・トイレ対策の備え
- 火事を出さない備え 火元にならないために、台所・仏壇・タバコ・ストーブの清掃と消火  
避難前のブレーカー切り、初期消火、風呂の残り湯活用等
- 自宅で地震発生時 ①身を守る②火の始末③出口の確保④余震に備える⑤近所と協力など
- 外出先で地震発生時 ①落下物注意(街頭)②係員の指示に従う(駅)③自動車運転時
- 避難するとき ①全地区の一時集合場所へ移動(指定一覧表有)②指定避難場所へ移動

## 共助 地域ぐるみの防災対策

### ①住民防災組織(備品整備・活動助成金:10万円/年)

地域の人々で構成する意志と意気込みと協力で運営される防災組織。



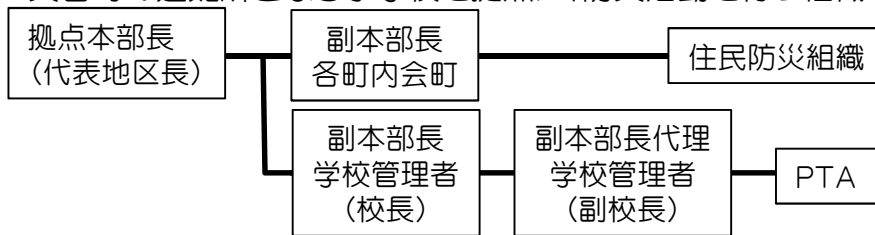
スタンドパイプ



可搬式小型消防ポンプ

### ②地域防災活動拠点会議(助成金:2万円/年)

災害時の避難所となる小学校を拠点に、防災活動を行う組織。



#### 活動内容

- ・平常時から、話し合い、災害発生時の対策発生時の対策などについて、意思疎通を図る。
- ・避難所に備えてある、備蓄倉庫を使った訓練を行う。

### ③地域の連携

町内・自治会と事業所との協定(一時避難場所)  
区・地域の専門職の連携協定(職業技能)  
建設事業所が倒壊家屋からの救出 など

### ④要配慮者と地域の協力

要配慮者のリストから、平常時状況の把握  
関係団体との連携(地域包括センター含む)  
避難所生活への配慮等 など

墨田区京島地区の歴史

- ・大規模災害に遭わなかった
- ・中小零細企業の集積で、長屋が多く建設

長屋を縫う狭隘道路  
木造住宅密集

建物倒壊危険度全国1位など  
全国で最も危険な地域

京島地区まちづくり事業計画(昭和49年～平成26年度)  
目標 良好な居住環境(住商工業一体化)と地震・火災に強いまちづくり

区と住民の役割分担を明確化し、以下3つの柱で推進

①主要生活道路とコミュニティー施設の整備  
防災、車・歩行者のために、100m間隔6～8m幅員  
手段1:建替時のセットバックにより拡幅。  
手段2:コミュニティ住宅建設し、旧住居から低家賃で移住してもらう手法で、道路拡幅を推進する。

②建物の不燃化促進  
倒壊防止と建物の不燃化促進  
各種補助事業により促進  
まちづくりコンシェルジュがサポート(民間活力)

③コミュニティ施設の建設  
防災生向上の広場、ポケットパークを整備  
道具立てを区民と協議し整備  
防災訓練で活用しコミュニティの醸成推進



延焼火災防止のため不燃化特区に指定→不燃領域率70%に引き上げ

10年プロジェクト不燃化助成制度H25～H32

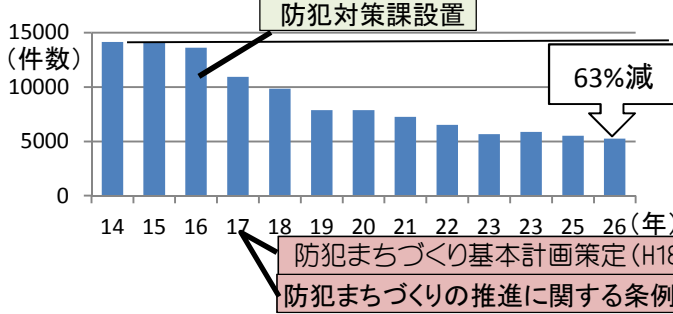
- A 不燃建築物の建築助成…助成額150万円 + 上限100万円(建築設計費)
  - B 老朽建築物を木造準耐火等へ建替…助成額100万円(建築設計費) + 上限90万円(老朽建築物除去)
  - ・上記に加え加算助成制度
    - A:老朽建築物除去、建築設計加算、火気使用店舗等建築、賃貸用共同住宅建築、協調建替建築で助成
    - A・B:主要生活道路沿道路後退、主要生活道路各地隅切り提供で助成
  - C 固定資産税・都市計画税の減免
  - D まちづくりコンシェルジュ
- コミュニティ施設建設(京島地区13棟+地区害4棟)…建設費用負担割合:国1/2、東京都1/4、豊島区1/4  
施設は住居・防災倉庫・事業所・コミュニティー部屋として活用  
建替・コミュニティ住宅への移動により道路幅員進捗 実績:平均契約件数:5～10件/年

所管 地域防災に於ける意識向上の課題は、刈谷市とも同じ状況と、今回の研修視察を通じ感じた。但し、行政として過去の歴史の反映に大きく開きがあると思われる。墨田区は、江戸時代から延焼火災の教訓を意識した施設整備をシステム化して行われていた。そのベースから、地域ぐるみの防災活動の基準となるハザードマップがある。洪水ハザードマップでは、被害想定に、200年に一度の総雨量で河川が氾濫した場合と、東海豪雨を想定したゲリラ豪雨で作成されていた。又、外国語表記もされている。地震ハザードマップには、発災時に一時避難し、最小単位で安否を確認する一時(いつとき)避難場所と、延焼火災発生時の避難場所、倒壊など自宅に居宅が困難時に利用する避難所が、各自治会毎に、一覧表で明記されている。行動するステップ毎に何処へ行くのかが、明確になっている。地域ぐるみのまちづくりに於いても、地域が協力をし合い、それを支援する形が刈谷市より優れていると感じた。その根底には、目標をしっかりと定め周知する事と、区民の目線で道具を揃え、自助・共助・公助が何をすべきかを明確にし、施策を進めてきている。その意図は、区民を中心とした延焼火災を未然に防ぐまちづくりに活かされている。延焼火災被害と洪水被害の対応について、刈谷市の状況を整理し、今回の研修を活かした提案をして

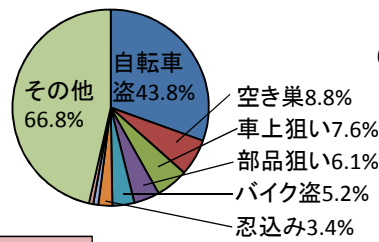


目的：刈谷市は、2018年度末までに防犯カメラを1000台にすると市長公約された。市川市の、防犯カメラを含めた先進的な防犯施策を学ぶ。

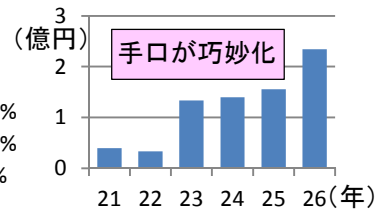
市川市の犯罪状況（刑法犯認知件数の推移）



犯罪種別発生率



振り込め詐欺被害状況



防犯まちづくり基本計画について

不特定多数を狙い、市民生活に身近な場所で発生する犯罪（侵入盗、ひったくり等街頭犯罪、子どもを狙った事案等）及び、これらの犯罪に遭遇する不安感についても基本計画の対象とする。  
 防犯まちづくりとは、防犯活動と環境整備及び管理といったまちづくりを相互に組み込んだもの。基本計画においては、犯罪が発生する環境や状況に着手し、その誘発要因を除去することで犯罪の起こりにくい地域を形成する事前予防の取組み。

1. 自主防犯活動支援について

活動内容 「自分たちのまちは、自分たちで守る」意識のもと、高齢者中心の自治会と有志の団体によって、各地域で展開されるパトロール活動。（対象者：市内在住・在勤者）  
 行政の活動支援 自主防犯パトロール：自治会の世帯数比で物品の支給  
 青色防犯パトロール：自治会・PTA・事業者などによる活動

2. 市民に対する防犯啓発又は情報提供

防犯に対する情報提供…広報紙、Webサイト、し広報番組、情報メール  
 市川市民防犯講演会、市職員が出前防犯講座実施

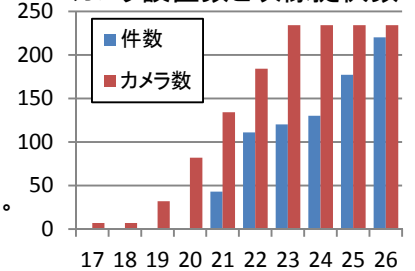
3. その他の防犯対策に関する取組み

- ・業務委託での3班体制14:00～24:00 一般車両に、青色回転灯の装着でパトロール
- ・PTA・保護者が、学校にある青パトを使用。（講習会で実施者証を要取得）
- ・市職員が公用車使用。（パトロール時のみ脱着式回転灯装着）
- ・振り込め詐欺対策
  - ①高齢者対応：納税等送付時に注意喚起文掲載、75歳到達時、「電話機要ポップアップ」郵送
  - ②啓発キャンペーンや講習会開催
  - ③「迷惑電話チェッカー」100台無料貸出し。

4. 防犯カメラ設置までの経緯

平成16年 「市川市防犯カメラの適正な設置及び利用に関する条例」制定  
 平成17年 駅周辺に7台設置。検証報告書をまとめ、街頭犯罪の発生件数を減少させる効果を確認。  
 平成19年 駅周辺の商店会・自治会等の協力で10箇所25台の防犯カメラが市に寄贈され設置。  
 平成20年 公共の場所の犯罪件数削減を目的に、ネットワーク型のカメラ設置。  
 平成23年 教育委員会設置の通学路用防犯カメラ50台が移管される。  
 ・ネットワーク型 152台、スタンドアロン型82台 計234台  
 平成26年 ネットワーク型は通信回線料・サーバ管理費が掛かるため、スタンドアロン型へ毎年40台ずつ3ヶ年計画で入れ替え予定。

カメラ設置数と映像提供数



イニシャルコスト…スタンドアロン型：ネットワーク型＝約30.0万円/台：83.2万円/台（5年契約リース・NT委託料）  
 ランニングコスト…↑＝約33.5万円/台：8.1万円/台※平成25・26年の合計金額  
**※警察依頼による、防犯カメラ映像の提供数（平成26年度）220件（捜査進展161件、検挙38件）**

市民へのアンケート結果 防犯カメラ設置の周知 88.7%（見てないが、知っている人含む）  
 体感治安の向上と犯行を未然に防ぐことからえる「安心」に期待を示すと推測

所管 市川市は、防犯対策を進める上で、防犯まちづくりの考え方・進め方を明確にし、その「推進に関する条例」と「基本計画」を定めて施策を進めてきた。教育現場が並行してパトロール活動や防犯カメラ設置を進めていることは、刈谷市と比較すると、保護者又は教育現場の防犯意識が強いと感じた。防犯カメラ設置の経緯については、確実なステップで進め、途中のアンケート結果確認をしながら施策に反映している。防犯カメラの成果について、検挙データから犯罪の抑止力となると考える。これらを参考に、刈谷市制に反映していきたい。